

見を
知力
い礎
幅と

将来像を語り合う

異業種の若手職員が合同研修

延岡市

「延岡市はたらく若年(産・官・学)合同研修」がこのほど、市役所
職員であり、市内の民間企業・団体、市役所、高千穂町を含む小中学校の
若年職員計約80人が参加して、社会人としての気構えを新たにすした。



県北で働く人材として
期待されていることを自
覚し、幅広い知識を得て、
社会人の基礎力を養って
ものごとを目的に、市
と市教育委員会、市キヤ
リア教育支援センターが
開催。参加者は地元で活
躍する先輩社会人の体験
談を聞き、互いに目指す
将来像を語り合った。

語り合いを通じて交流する
合同研修会の参加者の
(延岡市役所)

先般社会人は元エニテラ
口原伝部選手で現在は旭
有徳材社長の梅崎玲奈の

山根さんとは、就職した
東京の事務所でも年間

わたりのエンプロスの設計
・建設に携わる中で、延
岡に愛着を深めていった
経緯を説明。広島出身な
がら、自立して延岡で毎
日務を極め、まきおとし
活動にも取り組んでいる
ことを紹介した。

参加者に向け梅崎さん
は、厳しい克服してこ
そ成長できた自身の経験
から「あと一歩を踏み出
乗り越えられるように勇
で頑張ってください」と激
励。一方で、「人生は一度
きり。楽しきならんよう
する」とも語り、頑張っ
てもたないときは思いい
切って帰郷を提案すること
で、新たな夢の生み出
る可能性を示した。

山根さんは「今の世代
の人たちは頑張ってくれ
たからと、僕たちには
まだ悩む時間が残ってい
て、その世代の人がいな
ければ頑張りがなかった
かもじゃない」と感嘆。

若年職員に対しては「先
輩たちが頑張ってくれた
から」と経験を語りても
らざる梅崎さん「また来
た延岡には希望がある」
として「1人1人10年後
になっっていくほしい」と
鼓舞した。

その後、参加者は5、
6人のグループごとに
目指す自身の将来像を語
り合うことで交流した。
多くの子どもは愛着を
持つる先住になる「自分
の仕事だけでなく、後輩を
指導できる先輩になる」
「自分の経験を生かして
働きやすい環境をつく
る」などの期待を語られ
ても頼られる存在にな
る「なにより目標を掲げて
いた。